

オリンピックで初めてトリプルアクセルを成功させ、銀メダルに輝いた伊藤みどりは、身体が小さいにもかかわらずジャンプが高く、滞空時間の長いジャンプであった。

ジュニアからシニアの選手に移行する際、急激な成長により身体が大きくなりジャンプの調子を落とすことがある。浅田選手も一時期急激な身長増加によりジャンプの調子を落とした時期があったようだが、成長に伴って、速く回ることから、高く飛ぶことへ移行しなければならなくなる。

スポーツの難しさの一つに、両立が困難な2つの動作をしなければならないことが挙げられる。野球のピッチングにおける球速とコントロールの関係が良い例である。フィギュアスケートには多くの種類のジャンプがあるが、最初に4回転が達成されたトゥーループジャンプやアクセルジャンプは踏切動作において高く飛ぶための動作と強く身体を捻る動作を比較的両立させやすいジャンプである。

(体育科学部)

トピックス 3

規範的ルールと ノブレス・オブリージュ

佐々木 康

スポーツには規範的ルールがあります。たとえば相手選手に対する危険な行為を禁じる、相手やチーム、審判の人格を批判する言動や行動を禁じるなどです。こうした規範的ルールは任用する大会、国や地域の状況、社会情勢によってそれぞれ至適な考えによって施行されることとなります。

ツールドフランスは自転車ロードレースとして一日200kmを23日間、合計3,300km（休日も含みます）を駆けて行う過酷なレースです。時には30km以上続く上り坂となる峠越えコースもあります。このロードレースにも暗黙裡のルールがあります。先頭集団を構成する選手たちは、一度は自らが先頭に立ち、激しい向かい風を受ける役割

を分担することが勝負師たちのルールなのです。この行為をせずに勝利しても誰からも評価されません。そういうノブレス・オブリージュ、高貴なる献身の義務が、スポーツには多くあります。更に、アクシデントにつけ込まないこととして、ゴール直前の数kmを除き、先頭集団内の有力選手がバンクによる一旦停止や落車に巻き込まれた場合に、隙をついてアタックをかけることもマナー違反です。また地元選手が出身地・居住地の近辺を通過する際、沿道の家族友人等に挨拶するため集団から先に抜け出ることを容認すること。もちろん選手側は事前に集団にその旨を告げています。そしてトイレタイム中にアタックをかけないこと。一日中駆け回るレース中に選手たちは栄養を補給しますが、ミドルペースで走る追走集団の人はチーム内でまとまって一旦停止し用を足す事があり、その際、他チームがアタックをかけ引き離すもマナー違反です。

私たちが身近に行っているスポーツ活動においても暗黙裡にこうしたフェアネスを実践しています。たとえば球技系のゲームではある程度の身体接触はルール上認められていますが、ゲームを行おうと集まる複数の学生にはかなりの身体能力差がある場合が生じます。瞬発的な動作、スピード、あるいは視覚認知の速度の差などなど。これらの差を考慮して、身体接触は限りなく少なくしようというローカルルールを適用する必要がでてきます。これはゲームへの興味を阻喪するものではなく、身体接触に近い場面においても、できる限りの反応動作で回避する動作と意識を高めることは、プレーの質を向上させることにつながります。球技系の技術として、evasion skillといわれ、国内では、カワシ、ズラシ、あるいは、体を切る、という言い方が、鋭敏な感覚を鼓舞しますし、自分の脳内で、切れ味を研ぎ澄ませます、という身体への気づきのイメージを作ります。

そうした認識を持つことで、ゲーム全体の動きがダイナミックに、展開してゆきます。人の動きが作り出す、線と数の抽象性が意識内で視覚化・象徴化するといっていたような感覚をつくれるの

がスポーツです。そしてこうした身体意識の注視は、最終的に相手との不要な身体接触を避ける、自身の回避動作の体得や、さらにはそうした意識によって相手に対しても明確な敬意というか危険を避ける共同行動を呼び起こします。ゲームを展開するためには、そこに参加するひとりひとりが、できる限り、チームトークの中で、ポジティブな会話機会をもつこと、身体観やゲーム観へのコミュニケーションをもつことが、ノブレス・オブリージュ、高貴なる献身の義務の認識を高める大切な時間となるのです。(体育科学部)



運動施設の改修について

3月末竣工予定で、運動施設の改修工事が行われます。

1) 総合運動場

改修箇所は

1. 陸上競技場走路他
2. 野球場ダッグアウト、内野
3. 軟式テニスコート
4. 多目的コート

です。

陸上競技場はトラック及び跳躍助走路をタータンにし、その他の部分も人工芝等で舗装し、フィールド部分の人工芝を含め、すべての部分がオールウェザー化されます。野球場はダッグアウトが改修され、内野の土が入れ替えられます。軟式テニスコートは全面砂入り人工芝に、多目的コートは陸上競技場のフィールド部分と同様のロングパイル人工芝になります。

工事が完成すれば、これらの施設を使う多くの体育会運動部の練習環境が飛躍的に改善されます。

2) 新体育館トレーニングルームの床張替

山の上新体育館のトレーニングルームの床張替工事が行われます。新しい床は木製で、エアロビックダンス等に適した、衝撃吸収性のあるものになります。

3) 大幸地区テニスコート

傷みがひどく危険なため、使用禁止になっていましたが、砂入り人工芝のコートに改修されます。

利用者は使用上の注意を守って大切に使用して下さい。

プール開放のお知らせ

[プール棟改修工事について]

屋内プールと更衣室の間の風除け工事が3月初旬に完成します。これまで、プールと更衣室の間が屋外で吹き曝しになっており、冬場の利用者に寒い思いをさせてきましたが、屋内のままプールと更衣室の間の往来ができ、必要なときは暖房も入れる予定なので、これまでになく快適に利用いただけるようになります。

[平成22年度前期プール開放について]

平成22年度も引き続き屋内プールの開放を行いません。ご利用下さい。開放日は月曜日と木曜日の週2日間で、4月から夏休み前の前期定期試験開始前まで開放します。定期試験期間中は開放を休止します。夏休み中の開放については後ほどお知らせします。

利用者は下記の「使用上の注意」と監視員の指示をよく守り、事故防止に十分心掛けて下さい。

記

開放期間：平成22年4月1日(木)～7月22日(木)

曜 日：月曜日と木曜日

ただし、祝日は開放を行いません。

開放時間：午後4時30分～午後7時

利用資格：本学の学生・院生・教職員で定期健康診断の結果、異常の認められなかった人で、現在健康な人に限ります。

なお、家族等の学外者の利用はできません。

屋内プール使用上の注意

1. 入場の際は、受付に学生証または身分証明書を預け、必ず備えつけの利用簿に記入してください。
2. 脱衣はロッカー室で行い、遊泳前にシャワーで身体を洗い、十分な準備運動を行ってください。
3. 遊泳中は必ず帽子(スイミングキャップ)を着用してください。
4. 場内では、監視員の指示に従い、他の遊泳者を妨げる迷惑な行為やプール汚染となる行為はしないでください。
5. 貴重品はなるべく持参しないで下さい。貴重品がある場合は、受付に必ず預け、ロッカー内に放置しないでください。